

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名		なるとビジネスプランコンテスト開催事業		担当部署	企画総務部 戦略企画課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	なし	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	平成 27 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なると			終期	未定
(小項目)		産業				
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化				
基本事業	1	地場産業の育成・振興				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市において新事業のアイデアを持つ者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市において、地域活性化につながる新事業の創出を支援するため、ビジネスプランコンテストを開催する。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	なるとビジネスプランコンテストを開催する。初めに応募希望者を集めて講演会を開催し、2回プランを練り上げる会を開催。事業計画を応募してもらい、その中から書類選考で最終プレゼンに残る者を決定。プレゼン講座を開催後、最終プレゼンを開催して、そこでグランプリを決める。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		創業者数	1	1	1	1	1	件

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	16件のプランの応募があり、プラン作成講座や書類審査の結果、7件を最終選考の対象とした。またプレゼンテーション講座の開催やプランのブラッシュアップを経て、最終選考会を、キョーエイ4階で実施。公開でプレゼンテーションを行い、グランプリ1件、準グランプリ1件を選出した。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 プラン応募者数	16	16	20	20	20	件
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	創業者数	1	1	-	-	-	件
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	0	0
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	1,409	0	0	0	0	1,409
		全体予算額	1,409	0	0	0	0	1,409
		決算額	1,027	0	0	0	0	1,027
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費
		1.0	0.0		7,133		8,160	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：なるとビジネスプランコンテスト開催事業】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	764	1,027	1,070	1,070	1,070
	うち一般財源	0	0	1,070	1,070	1,070
	人件費	6,859	7,133	7,133	7,133	7,133
	総事業費	7,623	8,160	8,203	8,203	8,203

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		事業手法の見直しによる成果向上の余地があると考える。
	効率性	B:概ね効率的だった		事務の効率化という点で、さらに向上する余地があると考える。
②成果に対する評価	指標名	創業者数		創業者の創出ができ、また第二創業も支援し、実績は目標通り出せたと考えている。
	目標	1	件	
	実績	1	件	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		成果は達成したが、手法や効率化という点で改善の余地があるため、B評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門市の事業者または、鳴門の資源を活用したプランという狭い範囲で募集をしているため、応募件数の確保が課題である。商工関係団体や市内企業等との連携を密にし、さまざまな事業の掘り起こしを進める。 また、グランプリ・準グランプリ受賞者はもとより、最終選考にのこったプランや、最終選考に残らなかったプランも含めて、事業の実現に向けてフォローしていく必要があり、その部分がまだ手薄となっている。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	前年度の取り組みを継続実施するが、応募者へのアンケート等をふまえて、さらにプランが集まるよう改善を図る。また、応募者へのフォローについても商工政策課と連携しながら進めていく。			
	H30年度	29年度の実施状況を見ながら、30年度の内容を検討する。			